

第 4 回 運営推進会議議事録

平成 31 年 4 月 19 日作成

開催日 平成 31 年 4 月 19 日
時間 17:00 ~ 18:00
開催場所 リハビリデイサービスうるおす仙台事業所内

会議主旨説明

リハビリデイサービスうるおす仙台では、平成28年4月より、小規模型デイサービスから地域密着型通所介護に移行致しました。システムの変更に伴い、事業所として運営推進会議を設ける事が義務付けられております。この度ご参加頂きました構成員の方々へ、弊社デイサービスとして、どのように運営しているのかを説明をさせていただきます。今後、地域に開かれたデイサービスを目指してまいりますので、この度は忌憚ないご意見を頂戴頂けますよう、お願い致します。

利用者状況

31 年 3 月現在

○利用者数 合計 73 名 男性 34 名 女性 37 名

○認定度内訳

事業対象者 2 名
要支援1 45 名
要支援2 11 名
要介護1 10 名
要介護2 3 名
要介護3 1 名
要介護4 1 名
要介護5 1 名

○平均年齢

性別内訳 男性 歳
女性 歳

○日別利用状況 定員数 10 名

月曜日	午前	8 名	午後	9 名
火曜日	午前	9 名	午後	8 名
水曜日	午前	10 名	午後	9 名
木曜日	午前	9 名	午後	10 名
金曜日	午前	8 名	午後	10 名
土曜日	休み		休み	
日曜日	休み		休み	

事業所概要

○ご利用対象者

介護保険の認定を受けている方が対象になります。要支援から要介護の方を利用対象となります。

○利用できる時間帯

午前	9 時 ~	12:10 迄	休日
午後	13:50 時 ~	17:00 迄	土、日曜日 年末年始

○サービスの特徴

弊社デイサービスは、利用者様の運動不足解消と他者との交流の場を主体的に提供しております。特に、高齢になられる事で、身体的な問題から外出がする事が困難な方が多く見受けられます。弊社デイサービスを通して、定期的にご利用を頂き、機能訓練(運動)を意欲的に行っていただく事で、健康予防に繋がるサービスを提供させて頂いております。

○サービス内容(基本的な流れ)

午前時間 午後時間

8:30～	13:15～	ご自宅訪問、事業所まで送迎
9:00～	13:45～	健康管理(血压測定、問診)
9:30～	14:15～	集団体操
10:00～	14:45～	マシントレーニング
11:00～	15:45～	個別トレーニング
11:30～	16:15～	他者との交流時間(おやつ等交えて)
12:15～	17:00～	ご自宅まで送迎

○個別トレーニングとは

利用開始に合わせて、利用者個別に必要なトレーニング内容(機能訓練計画書)を定めます。下肢の筋力や歩行、上肢の動作などに不安をお持ちの方に、必要なトレーニングメニューを定め、運動を進めて頂きます。

職員状況

管理者	1名	(資格	介護福祉士)
生活相談員	1名	(資格	介護福祉士)
機能訓練指導員	3名	(資格	柔道整復師)
介護職員	1名	(資格	栄養士)
看護職員	名	(資格)

苦情相談、事故件数(直近6ヶ月)

○苦情相談件数 1件

寄せられた苦情相談内容

H31年2/25に難聴がある体験利用者に対し、問診を聞こえやすい声でホール内で行なったところ、他のご利用者様から問診内容(病歴など)が聞きたくないのに聞こえてしまう。とご指摘を受けました。対応策としては、プライバシー保護のため相談室内で問診を行い、その後ホール内を説明することにしております。それ以降はご指摘は受けておりません。

○事故件数 2件

事故内容

H31年1月4日に駐車場で、転倒事故が発生しました。職員が右脇を支え、送迎車に誘導しようとした際にドアを開けるため目を離したときに、ご利用者様が左足で縁石をまたごうとし、左膝が膝折れをおこしました。脇は支えたままでしたのでゆっくりと後方に臀部から座り込むように崩れました。幸いにも怪我などはなく、その後も休まずデイに通われています。最近自宅での膝折れが増えているという把握していたのに、ドアを開けるために目と体を離してしまったことが事故要因と考えます。対策としては、別の作業をしながらの誘導ではなく縁石と一緒にまたぎ、介助を完了してから最後にドアを開けることを徹底しています。

事故内容

H31年1/24にトイレ内で転倒事故が発生しました。ご利用者様がマシン終了後、バイタルを測定したところ、血压がいつもより少し高めでした。その後の体調確認の際は体調不良の訴えはなく、いつもどおり一人でトイレに行かれました。用を足し、手洗いを済ませ方向転換をした際に、右手で手すりをつかみそこね、スリッパがすべり左後方へ転倒しました。幸いにも骨折などはなく、1ヶ月ほど痛みはありましたが病院受診などはせず、湿布で対処されています。事故要因としては、スリッパに滑り止めがついていなかったこと、いつもとは違うバイタル値に対し、トイレ内まで職員が介助しなかったことが考えられます。対策としては、スリッパを滑り止め付のものに交換をし、転倒防止のため、ドアとトイレ内に[スリッパはつま先まではきましよう。]と注意喚起の張り紙を掲示しました。更にマシン後、バイタルがいつもとは違う数値の場合には、ご本人様の同意を得てからトイレ内までついていくことにしています。

○利用者様ご家族様のご意見・ご要望

D・K様に出席して頂く。うるおすにはH31年4月より利用開始でもっとうるおすのを知ってもらおう
と思い、出席をお願いしました。うるおすは他のデイに比べ職員が明るく、年寄りくさくない感じがいい
と思う。

自分が片麻痺で体が動かしにくいいため、最初にマッサージをお願いしている。マッサージのあとは体
が動かしやすく運動しやすい。運動はきつと感じるときもあるが、自分の体にとってはいいことな
ので、これからも休まずにがんばっていきたい。

○地域代表者様のご意見・ご要望

前回に引き続き高松町内会長のS・T様に出席して頂く。小松島地域包括支援センターで行われてい
る運動教室には元気な人しかおられず、坂道があるため途中で転んでしまったり、行きたいが諦めて
しまっている方が増えてきている。特に男性が引きこもりで、職業柄もそのコミュニケーション能力に
関係している

。そのため、うるおすは平地にあるしお迎えもしてくれるので、そういった方々にこれからも運動を教
えてほしい。

○市職員様、地域包括支援センター様のご意見・ご要望

小松島地域包括支援センターのH・S様に出席して頂く。うるおすで口腔加算を取ってほしい。咀嚼や
咽込みが悪い方が増えてきており、口腔に対するアンケートをとり、希望者だけ行ってみてはど
うか？うるおすなら1年ぐらいかけて準備をし、ご利用者様に口腔加算の必要性を理解してもらってか
ら、対応できるのではないか。運動が必要だという学習塾的なものを開いてはどうか？

○民生委員様のご意見・ご要望

うるおす地域担当の民生委員のC・M様に出席して頂く。介護認定を受けてなくても利用できるサービ
スがあればよい。カーブスより軽めでお金をとってもよいので介護認定が降りる前の方がこれら中間
地点としての運動するところがあればよい。足腰が丈夫な人はこないから、運動の必要性を訴える学
習塾をひらいてはどうか？(ケアマネと同じ考え方)